

# 平成 22 年度（第 13 回）長崎県マスタース水泳競技大会

1. 主催 長崎県水泳連盟・(財) KTN スポーツ振興財団
2. 後援 長崎県教育委員会・(財) 長崎県体育協会・長崎市
3. 主管 長崎市水泳連盟
4. 期日 平成 22 年 6 月 20 日 (日)
5. 会場 長崎市東公園コミュニティプール (室内公認 25m) TEL 095-838-5705  
開 門 8 時 00 分  
監督会議 8 時 20 分  
開 会 式 9 時 45 分  
競技開始 10 時 00 分

## 6. 競技方法

- ① グループを A~MN までとし、その年齢区分は、下記のとおりとする。

A	B	C	D	E	F	G
18~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54
H	I	J	K	L	MN	
55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80 以上	

- ② 年齢は平成 22 年 12 月 31 日における満年齢とする。
- ③ 競技は、男女別、年齢別にタイム決勝で実施することを原則とするが、出場者が少ない場合は合同で実施する場合がある。
- ④ 競技は、男女別、年齢別（エントリータイムを勘案し異なる年齢区分への組分けもある）に組分けを行い高年齢から低年齢の順に実施する。

## 7. 参加資格

- ① 満 18 歳以上（競技者登録した学生を除く）定期的に水泳練習を実施し、健康であること。
- ② 参加者は、任意のクラブ（団体）に所属していること。  
（練習のプールを中心とし、団体名は適宜とする）

8. 表彰 各種目、年齢区分ごとに、1 位~3 位までを表彰する。

## 9. 申込規定

- ① 参加制限 自己の年齢区分種目に限って申込みことができる。
- ② 申込方法 ア 申込一覧表（男女別に作成）、イ 個人票、ウ 誓約書に必要事項を記入の上、参加料・プログラム予約販売料を添えて申し込むこと。
- ③ 参加種目数 一人 3 種目以内とする。（ただしリレー種目を除く）
- ④ 参加料 個人種目 1 種目 1,000 円、リレー種目 2,000 円
- ⑤ 参加者の傷害などについては、スポーツ団体保険の範囲内で責任を負う。

10. 申込期間 平成 22 年 5 月 21 日（金）~5 月 28 日（金） 必着のこと。

11. 申込先 〒850-0801 長崎市八幡町 6-27-403

（問合せ先） 安達方長崎市水泳連盟 宛

TEL・FAX 095-822-2642 メール adyuko1202@yahoo.co.jp

- 12 振込先 十八銀行 道ノ尾支店 普通 1 8 7 2 1 1

口座名義 長崎県水泳連盟 長崎市担当 安達 祐子

13. ① 種目及び競技順序

No.	種 目		No.	種 目	
1	100m	フリーリレー(混合 160 才以上)	17	100m	メドレーリレー (混合 160 才以上)
2	100m	フリーリレー (混合一般)	18	100m	メドレーリレー (混合一般)
3	100m	個人メドレー	19	50m	平泳ぎ
4	200m	個人メドレー	20	50m	背泳ぎ
5	100m	メドレーリレー (280 才以上)	21	50m	バタフライ
6	100m	メドレーリレー (240 才以上)	22	50m	自由形
7	100m	メドレーリレー (200 才以上)	23	200m	自由形
8	100m	メドレーリレー (160 才以上)	24	100m	フリーリレー (280 才以上)
9	100m	メドレーリレー (120 才以上)	25	100m	フリーリレー (240 才以上)
10	200m	メドレーリレー (一般)	26	100m	フリーリレー (200 才以上)
11	25m	自由形	27	100m	フリーリレー (160 才以上)
12	25m	平泳ぎ	28	100m	フリーリレー (120 才以上)
13	25m	背泳ぎ	29	200m	フリーリレー (一般)
14	25m	バタフライ			
15	100m	自由形			
16	100m	平泳ぎ			

② 年齢区分など

ア ○○才以上とは、4名の合計が○○才以上であればよい。

イ 混合とは、男女(各2名)の混合であり、男、女の順番は自由とする。

(例：男男女女、男女男女等)

ウ 区分どおり出場すること。

14 プログラム販売について

ア 予約販売 1部800円

イ 当日販売 1部1000円

諸注意

1. 開会式、閉会式は各クラブごとに集合してください。
2. 競技は、日本水泳連盟競泳競技規則及び、一部日本マスターズ水泳競技規則を準用します。
3. 競技は、すべてタイムレース決勝で行います。
4. 競技運営上、同一種目に限り2グループ以上同時に競技を行う場合があります。
5. フライングは1回で失格です。フライングの者があってもスタートのやり直しはしません。スタートの合図の前に誤って落ちた場合は水中からのスタートとなります。
6. 召集は、20分前に行います。遅れた場合は棄権と見なします。
7. 健康管理には、各個人及び各クラブでよく注意をして下さい。もしレース出場前に自分の体に異常を感じたら、レースは棄権して下さい。
8. 大会時等に競技結果を掲示しますので、個人情報(氏名・年齢等)が表示されることを了承の上申込む事。

## 泳法上の注意

日本マスターズ水泳競技規則（抜粋）

### ① スタート

- a. スタートのフライングは 1 回目で失格する。スタートの信号が発せられたときはフライングの者があってもスタートのやり直しはしない。
- b. 背泳ぎを除く各種目のスタートは、スタート台上、台下または水中からすることができる。
- c. スタート台からスタートする選手は審判長の笛の合図で台上に上がり、直ちに台の前縁に両足又は片足の指をかける。出発合図員の“用意”の合図でスタートの姿勢をとり静止したとき出発の信号が発せられる。台下からのスタートもこれに準ずる。
- d. 選手が静止した後出発の信号が発せられる前にスタートの動作を始めた者はフライングとなる。ただし出発の信号が発せられず故意で無く水中に倒れ落ちた時は、フライングとしない。この者は、水中から上がらず（①—e 項）により水中からスタートするものとする。
- e. 水中からスタートする選手は、審判長の笛の合図で水に入り、直ちにスタート用のグリップを片手または両手で持ち、両足又は片足を壁につける。出発合図員の“用意”の合図以下の動作は、台上のスタートと同じとする。

### ② バタフライ

バタフライの泳法には平泳ぎのキックまたはドルフィンキックと平泳ぎのキックを併用することができる。

**\* 競技に参加することも大事であるが、**

**棄権する勇気も大事である。**

# 長 崎 県 マ ス タ ー ズ 水 泳 大 会

大会会長 様

## 誓 約 書

長崎県マスターズ大会出場にあたり、定期的に水泳練習を実施していることを誓約いたします。  
事故が発生した場合は、本人の責任において処理いたします。

年 月 日

チーム名 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_

責任者名 \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_

私たちは、今大会出場にあたり、健康についてなんら異常なきことを著名押印のうえ、ここに誓約いたします。

	氏 名	印		氏 名	印
1			16		
2			17		
3			18		
4			19		
5			20		
6			21		
7			22		
8			23		
9			24		
10			25		
11			26		
12			27		
13			28		
14			29		
15			30		

※ 不足の場合はコピーしてください